

1、事業の目的

町内の医療と福祉の連携を図り
安心して住み続けることが出来る町
「高畠」を形づくる

- 1「高畠町地域医療推進協議会」を設置
- 2 多職種間合同研修会の定期開催
- 3 医療介護連携ノートの作製

2、推進されたこと

- 「高畠町地域在宅医療推進協議会」を設置したことで、町内の在宅医療を考える契機を得ることが出来た
- 多職種合同研修会を定期開催したことによって、医療と福祉間の垣根が低くなった
- 医療介護の連携ノート「つながる安心ノート」のモデル試用を実施した

3、今後の取り組み

1、医療と介護の多職種連携の強化

「多職種連携ノート」の使用を確立し、これを基にしたICTツールへの移行を準備する

2、地域での在宅医療啓蒙の為の出前講座を開催し、在宅医療への関心を高める

3、在宅医療総合窓口業務を開設し、町民の在宅医療に関する不安に対応するとともに、関係機関繋ぐ機能を持たせる